

令和3年度
事業報告書

(自) 令和3年4月1日

(至) 令和4年3月31日

社会福祉法人 みかん会

I. 事業展開

1. 実施事業

- ① 第1種社会福祉事業
 - a. 地域密着型小規模特別養護老人ホームみかんの里

- ② 第2種社会福祉事業
 - a. グループホームこちち
 - b. ショートステイみかんの里
 - c. デイサービスセンターれもん
 - d. デイサービスこちち

- ③ 公益事業
 - a. 有料老人ホームみかん・松前
 - b. みかん内科クリニック

2. 事業運営開始

- 平成29年 5月1日 地域密着型小規模特別養護老人ホームみかんの里、グループホームこちちの運営を開始。

- 平成29年10月1日 ショートステイみかんの里の運営を開始。

- 令和 2年10月1日 デイサービスセンターれもん（通常規模）の運営を開始。

- 令和 2年10月7日 有料老人ホームみかん・松前の運営を開始。

- 令和 3年 8月1日 みかん内科クリニックの運営を開始。

- 令和 3年10月1日 デイサービスこちちの運営を開始。

- 令和 3年12月1日 デイサービスセンターれもん（通常規模を廃止し、地域密着型として）の運営を開始。

II. 令和元年度の理事会・評議委員会の開催状況

1. 理事会

- (1) 定数：8名（理事：6名 監事：2名）

現任期：令和3年6月7日～令和5年度最初に召集される定時評議員会の終結の時まで

- (2) 現員：8名（理事長：1名 理事：5名 監事：2名）

開催回	開催年月日	出席者数 ／定数	主な議事内容
第1回	令和3年 5月24日	6／6	令和2年度事業報告・決算報告・監事監査報告、令和2年度実施指導の結果、診療所の開設、定款の変更、地域密着型通所介護事業所の開設（現通所介護の変更）、評議員会の招集、理事長の職務執行状況
第2回	令和3年 6月7日	6／6	理事長の選任、諸規程の変更等、ショートステイみかん余戸の変更について
第3回	令和3年 10月4日	6／6	第8期松山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の公募事業参加、みかん内科クリニックについて
第4回	令和3年 10月18日	6／6 (書面会議)	松山市地域包括支援センター運營業務委託について（プロポーザル方式への参加）
第5回	令和3年 12月20日	6／6 (書面会議)	松山市地域包括支援センター潮見・久枝の運営に係る随意契約、定款の変更、評議員会の開催
第6回	令和4年 3月25日	6／6 (書面会議)	令和3年度補正予算、令和4年度収支予算、令和4年度事業計画、評議員会の開催、第8期松山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づく公募結果

2. 評議員会

(1) 定数：7～10名

現任期：平成29年4月1日～令和5年定時評議員会の終結の時まで

(2) 現員：7名

開催回	開催年月日	出席者数 ／定数	主な議事内容
第1回	令和3年 6月7日	7／7	令和元年度事業報告、決算報告、監事監査報告、定款の変更、理事の選任
第2回	令和4年 1月4日	7／7 (書面会議)	松山市地域包括支援センター潮見・久枝の運営に伴う定款の変更
第3回	令和4年 3月30日	7／7 (書面会議)	令和3年度補正予算、令和4年度収支予算、令和4年度事業計画

職員の状況（令和4年3月31日現在）

職 種 別	みかんの里					みかん・松前			総合計（実人数）
	特養みかんの里	認知デイサービスグループホーム	ショートステイ	みかんクリニック	人員数	みかん・松前 有料老人ホームみか	デイサービスれもん	人員数	
施設長	1				1	1		1	2
管理者		(1)	(1)	1	1		(1)		1
嘱託医	(1)		(1)						
生活相談員	1				1	1	1	2	3
介護支援専門員	(1)								
看護師	4	1	2	2	9	4	1	5	14
管理栄養士	1	(1)	(1)		1	1	(1)	1	2
機能訓練指導員	1		(1)		1	1	(1)	1	2
計画作成担当者		1(1)			1	(1)			1
介護職員	16	15	5		36	14	1	15	51
調理員	5		(5)		5	6	(6)	6	11
事務員	3			1	4				4
法人合計	32	17	7	4	60	28	3	31	91

※管理者ほか施設内事業所にて兼務あり

みかんの里 嘱託医師（外科・消化器外科）：1名

みかんの里 協力医療機関：5か所

・福角病院・安城寺クリニック・あかりクリニック・岡田歯科医院・みかん内科クリニック

みかん・松前 協力医療機関：8か所

・岡部クリニック・松野内科クリニック・高瀬内科胃腸科・梶原クリニック
・たけだ内科クリニック・くろだ病院・おかだ歯科クリニック・みかん内科クリニック

職員の研修状況

みかん内科クリニック

日付	主催	研修名	場所	参加者
R3.12	厚生労働省医政局医事課	オンライン診療研修	ONLINE 研修	荒深景一

法人内部研修

日付	研修名	講師
4月	法人理念・運営方針・行動計画	松本施設長（コロナによりペーパー研修）
5月	コロナウイルス感染対策	二神看護師（コロナによりペーパー研修）
6月	事故防止・リスクマネジメント研修	二神看護師（コロナによりペーパー研修）
7月	褥瘡予防	藤本施設長（コロナによりペーパー研修）
8月	身体拘束適正化研修	河崎裕也（コロナによりペーパー研修）
9月	メンタルヘルス	松本施設長（コロナによりペーパー研修）
10月	事故防止・誤嚥・誤薬	宇都宮ホーム長（コロナによりペーパー研修）
11月	感染症対策	渡部翔太主任（コロナによりペーパー研修）
12月	身体拘束適正化研修パート2	河崎裕也（コロナによりペーパー研修）
1月	救急救命（コロナ多発により消防隊員参加できず）	宇都宮ホーム長（消防より貸与したDVD使用）
2月	虐待防止	渡部翔太主任（コロナによりペーパー研修）
3月	看取りケア	二神看護師（コロナによりペーパー研修）

各種委員会の開催状況

委員会	開催頻度
事故防止対策委員会	毎月開催
身体拘束委員会	3、6、9、12月に開催
感染防止対策委員会	毎月開催
褥瘡対策委員会	毎月開催
虐待防止対策委員会	2月、5月、10月に開催
ケア向上委員会	毎月開催
教育研修委員会	毎月開催
苦情対応委員会	2、5、8、11月に開催
レクリエーション委員会	毎月開催
栄養管理委員会	毎月開催
安全衛生委員会	毎月開催

地域密着型小規模特別養護老人ホームみかんの里

作成責任者：事務長 松本 祐樹

I 年間を通しての総括

1. 令和3年度を振り返って

令和3年度は、一昨年同様に新型コロナウイルスとの格闘で一年が終わったように感じます。中でも、令和3年2月には職員から発生した新型コロナウイルスにより、利用者9名職員2名、合計11名のクラスターを発生させてしまいました。終息までに約一月かかりましたが、ご協力をいただいた先生をはじめ、保健所の方々、その他関係機関の方々の熱心なご指導・ご支援をいただきながら、職員一丸となり窮地を乗り越えることができたと感じています。

前述したように、年間を通し施設としても閉鎖された時間が長く、ご入居者やそのご家族、にもご不安、ご迷惑をおかけすることが多々あったように思います。少しでも当施設の取り組みを共有・ご理解して頂ければという思いから、ホームページや広報誌を通じて発信してきましたが、今後も継続して、より細かな情報を届けることができると考えています。

2. 職員のスキルアップ

月に一度の法人研修やユニット会議を通して、知識技能の向上に努めました。また、ユニット会議、責任者連絡調整会議、幹部会議など、定期的に会議を実施し、職員の意見を吸い上げ共有できるよう努めています。実際に、職員の声から業務改善につながり、より良い利用者のケアに繋がった事例も沢山ありました。また、各種委員会を職員で構成し委員長を一般職員から選出するようにしています。そうすることにより、自分たちで考えて行動することにより能力を養うことに繋がっていく、また潜在能力者の掘り起こしにつながるのではないかと考えています。

3. 今後の課題と取り組み

新型コロナウイルスへの対応が最大の課題と考えています。入館制限は継続中であり、今後もガラス越しの面会やLINE電話を活用した面会を継続していきます。また、利用者への4回目のワクチン接種が予定されており、本人はもちろん家族への精神的・身体的な苦痛を緩和することができるよう、医師をはじめ多職種で連携し対応していきます。いつまで続くか分からないウイルスに対して長期的な対応も視野に入れながら、施設内でより安全・安心して穏やかに過ごして頂けるようにしていきます。

Ⅱ 利用状況

①要介護度別利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	90	93	90	93	62	60	62	60	62	62	56	62	852	8.1%
要介護4	319	355	360	372	403	390	372	330	341	279	280	278	4,079	38.6%
要介護5	457	447	420	434	434	420	465	480	496	558	469	551	5,631	53.3%
合計	866	895	870	899	899	870	899	870	899	899	805	891	10,562	

②稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	99.6	99.6	100	100	100	100	100	100	100	100	99.3	98.9	99.7
前年度	100	100	100	100	98.9	100	100	100	99.3	100	100	100	99.8

③年齢別入所件数

年齢	～69	70～79	80～89	90～99	100～	平均
男性	0	3	3	0	0	79.2歳
女性	0	1	11	9	1	88.8歳
計	0	4	14	9	1	86.8歳

R4.3.31 現在

④在所期間

在所期間	半年未満	半年～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～4年未満	4年以上	平均
男性	0	0	1	1	1	3	44.3ヶ月
女性	2	2	3	6	1	8	35.8ヶ月
計	2	2	4	7	2	11	37.6ヶ月

R4.3.31 現在

⑤入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5
退所	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	6

グループホームここち デイサービスここち

作成責任者：施設長 宇都宮 聖

I 年間を通しての総括

1. 認知症に対しての個別ケアの充実

私たちが大切にしている、「楽しみ」「繋がり」「いきがい」「共生」を基盤に、認知症になっても家庭的な雰囲気の中で暮らすことにより、認知症の緩和や進行を遅らせ尊厳のある日常生活を営み、本人の希望、要望が叶えられ、その人のペースに合わせた入浴、食事、排泄の支援や日常生活の場面でのリハビリ等を行い、ご利用者個人にあった支援を行っています。

2. 共用型認知症対応型通所介護の開始

新規事業として、グループホーム内での共用部を使った『介護予防認知症対応型通所介護』を令和3年10月より開始しました。事業所では、グループホームならではの、認知症対応に特化したケアを重視した通所介護の提供を行っています。また、入所の申し込みを行った方が待機待ちの間、施設に慣れるための準備場所としてご利用いただけるようにもしています。

3. 今後の課題

地域の高齢者福祉サービスの拠点となれるよう、地域包括支援センターとの関り、ボランティアや実習生の受け入れ、また、地域の行事に参加し交流を深め、住民との協力体制を構築しコミュニティワークに力を入れたいと思います。さらに、認知症対応型通所介護の開始とともに、より認知症利用者の為に特化したサービスを提供できるよう、職員のスキルアップに努めていきたいと考えています。

Ⅲ 行事、企画等活動報告

1. 行事報告

4月	お花見（散歩）
5月	母の日
6月	父の日
7月	七夕まつり
8月	そうめん流し・花火大会
9月	敬老会
10月	運動会
11月	
12月	クリスマス会・餅つき
1月	
2月	節分豆まき
3月	ひな祭り

2. 運営推進会議

開催日（文章の為、報告書作成日を記載）	送付先人数
令和3年5月12日（3～4月分）	4名
令和3年7月27日（5～6月分）	4名
令和3年9月17日（7～8月分）	4名
令和3年11月16日（9～10月分）	4名
令和4年1月19日（11～12月分）	4名
令和4年4月4日（1～2月分）	4名

【 送付先 】

松山市役所介護保険課：担当者様
地域包括支援センター城北：担当者様
民生員：吉田 様
民生員：吉野内様

ショートステイみかんの里

作成責任者：副施設長 渡部 翔太

I 年間を通しての総括

1. 充実したショートステイを目指して

ショートステイをご利用される理由としては、ご家族の介護負担の軽減、ご利用者の健康管理を目的とされることが多く、本人にとっては泊まりたくない、行きたくないという思いの方が強く、渋々ご利用されているケースが殆どでした。しかし、当事業所と他ショートステイと利用を比べた方は「みかんの里が一番良かった」と戻ってこられる方も大勢いらっしゃいました。今後もレクリエーション活動や生活リハビリを取り入れ、看護師、機能訓練指導員、栄養士など多職種間での連携を図り、他事業所から求められる事業所となれるよう尽力いたします。

2. 相談しやすい事業所となるために

ご利用の相談の時点から、臨機応変な対応をとれるよう心がけております。また、ご利用前の契約の際には、様々な情報収集を行い、事業所の職員にしっかりと伝達を行い共有することで、ご家族の不安の解消に努めています。実際に、他の施設では落ち着かれなかったご利用者が、みかんの里では落ち着いてご利用することができたと評価していただく事もありました。今後も、ご家族、担当ケアマネジャーの方から信頼を得て、「みかんの里なら」と思ってもらえるよう、外部との連絡対応についても丁寧な対応を心がけていきます。

3. 今後の課題

新規利用者の獲得については、月平均 3～4 件獲得できていますが、定期的にご利用いただいていたご利用者の施設への入居、逝去などによって稼働率の安定化が困難な状況となってしまいました。また、新型コロナウイルス感染症の流行がとどまらず、総合福祉施設みかんの里内にてクラスターを発生させてしまい、短期利用の一時停止をせざるをえない状況になってしまいました。職員の尽力もあり、ショートステイ内に感染が広がる事はありませんでしたが、この間に、他施設をご利用された方の中には当施設の利用に復帰されなかった方もおられたり、体調不良などから利用の見合わせ等が立て続けに発生したことにより、3月の稼働率が大幅に低下してしまうこととなりました。相談員としての力不足を痛感し、今回の件を機に感染対策をしっかりとっていることをアピールすることで、更なる集客を目指してまいります。

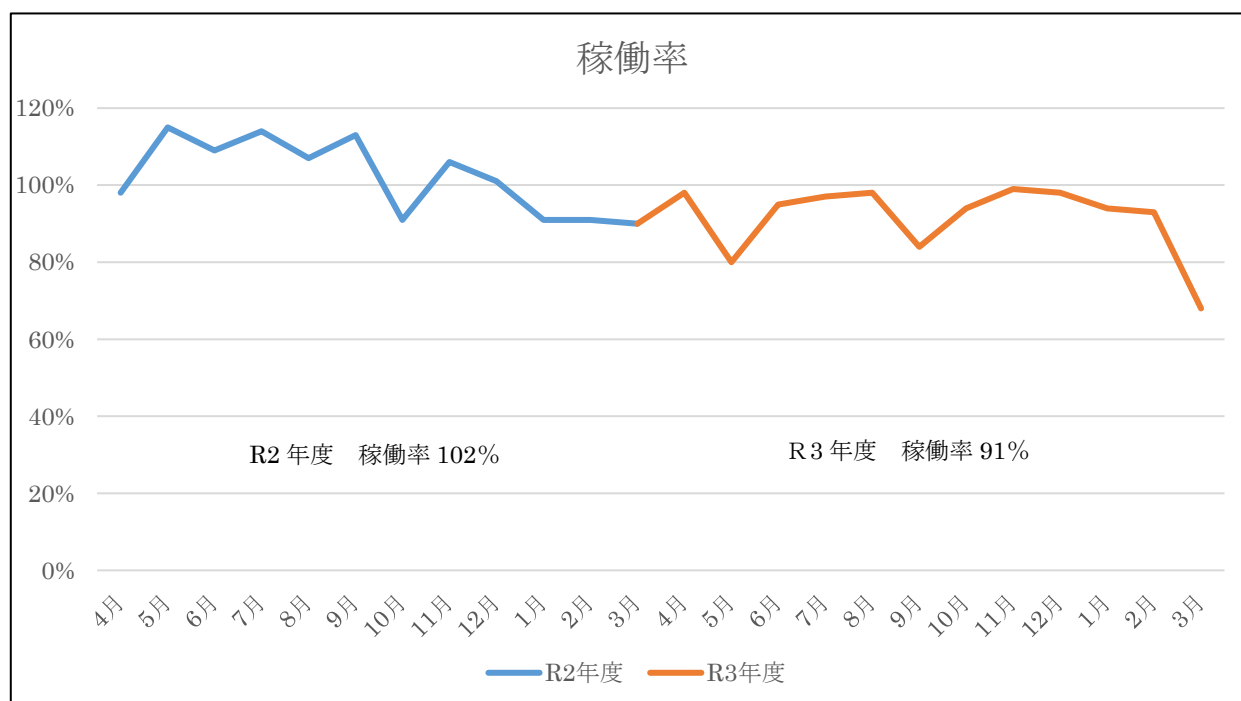
II 利用者状況

1. 要介護度別利用日数（介護予防含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	6	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	11
要支援2	8	11	7	6	6	6	12	11	6	6	6	0	85
要介護1	29	40	48	33	37	33	17	21	15	6	6	11	296
要介護2	66	38	38	31	36	13	6	3	3	12	9	3	258
要介護3	53	66	85	119	127	126	174	168	187	167	142	119	1,533
要介護4	93	68	100	96	81	62	69	73	74	76	35	29	856
要介護5	40	25	8	17	12	11	14	22	18	23	61	49	300
合計	295	248	286	302	304	251	292	298	303	290	259	211	3,339

2. 稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	98	80	95	97	98	84	94	99	98	94	93	68	91
前年度	98	115	109	114	107	113	91	106	101	91	91	90	102



有料老人ホームみかん・松前

作成責任者：管理者 遠森 利一

I 年間を通しての総括

1. 自立支援の充実と課題

当施設では、高齢者に敬意を払い「自立の支援」を大切にし、個別にリハビリを行い、身体機能の維持・向上に努め、その人がその人らしく生き生きと生活するための支援を充実させています。また、身体機能を維持することにより、現在の生活が継続でき、地域や社会参加に繋げることが今後の課題と考えています。

2. 人材育成

職員一人一人の能力を見極め、個々にあったスキルアップ研修を行うことで職員のレベルの底上げに繋がっています。また、定期的にミーティングを行い、自らが自らの理想とする施設を実現する為に意見を出し合い、考え行動できる職員に育つよう、人材育成に努めています。

3. 周知活動

令和2年10月に開設し、満床になるまで約1年の歳月がかかりました。しかしながら、満床もつかの間、施設入居者の高齢化率は高く、入所、退所の連続で令和3年度に落ち着くことはありませんでした。課題としては、待機者が少なく、施設で看ることが出来なくなった方、逝去された方などの退所者が出た際に、入居する方が間に合わないという状況がしばしば見受けられました。地域密着型のサービスの為、いかに松前町の関係者の方々に認知して頂けるかが重要であると感じました。定期的に、関係機関を訪問し情報の共有をする時間を作ると共に、地域行事への参加を推進し、顔なじみの関係を築けるよう尽力していきます。

3. 新型コロナへの対策

今後も新型コロナへの対応が最大の課題と考えています。行政の指導の下、面会を中止、または規制する等の制限を実施する事で外部との接触を極力減らす取り組みを行っています。ただ、ご家族の面会中止・規制をすることで互いに不安感を与えることのないようテレビ電話や窓越しでの面会実施も検討し、ストレスケアに努めたいと考えています。また、終わりの見えない状況の中でコロナウイルスと共存していくことも検討する必要がある為、職員会議で十分な検討を行い創意工夫しながら、状況に応じた対応を心掛けていきます。

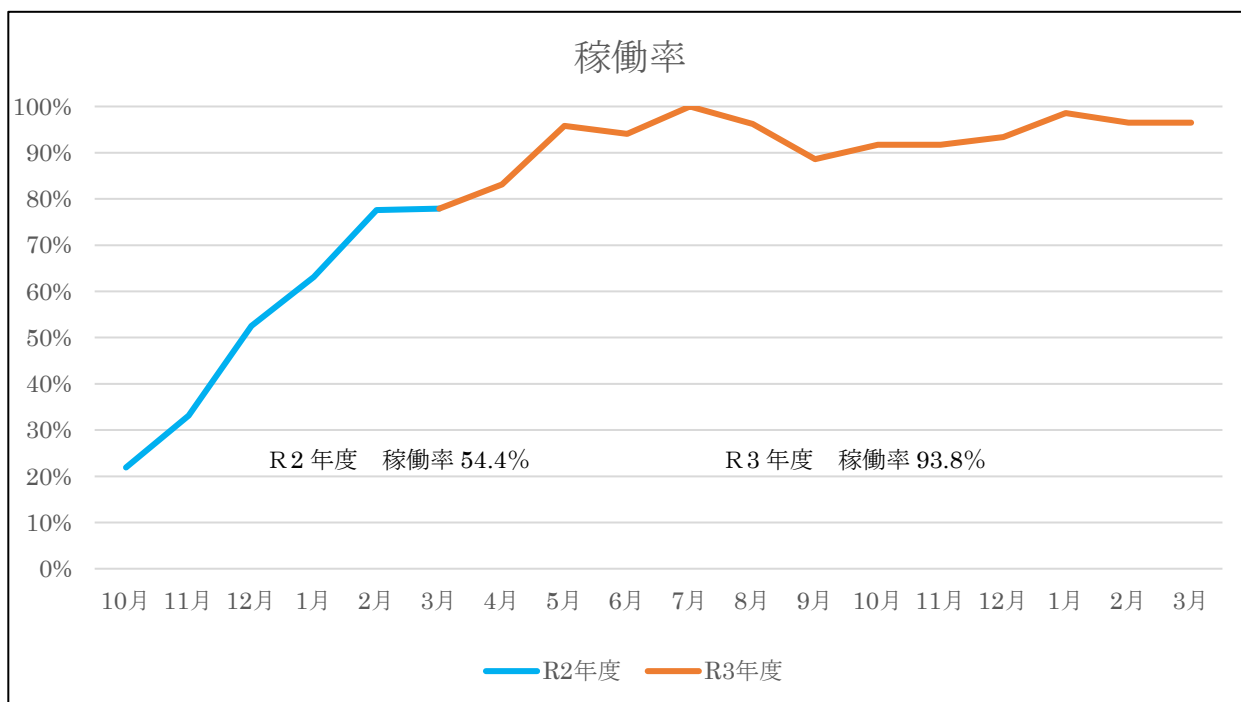
Ⅱ 利用状況

①要介護度別利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
要介護 1	157	186	152	217	233	214	186	180	252	273	224	248	2,522	25.4%
要介護 2	287	310	270	248	240	180	236	227	217	212	196	217	2,840	28.6%
要介護 3	122	155	180	186	143	150	155	150	124	124	112	124	1,725	17.3%
要介護 4	90	121	157	186	186	180	186	180	186	217	196	186	2,071	20.8%
要介護 5	67	90	60	61	62	46	62	60	62	62	56	93	781	7.9%
合計	723	862	819	898	864	770	825	797	841	888	784	868	9,939	

②稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働率	83.1	95.8	94.1	100	96.2	88.6	91.7	91.7	93.4	98.6	96.5	96.5	93.8
前年度							21.9	33.1	52.5	63.1	77.6	77.9	54.4



③年齢別入所件数

年齢	～69	70～79	80～89	90～99	100～	平均
男性	1	1	4	2	0	82.8 歳
女性	0	1	8	10	1	89.6 歳
計	1	2	12	12	1	87.6 歳

R4.3.31 現在

④在所期間

在所期間	15日～ 1ヶ月未満	1ヶ月～ 3ヶ月未満	3ヶ月～ 半年未満	半年～ 1年未満	1年～ 2年未満	平均
男性	0	0	0	2	6	14.1 ヶ月
女性	0	1	1	6	12	12.9 ヶ月
計	0	1	1	8	18	13.3 ヶ月

R4.3.31 現在

⑤入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	4	2	2	0	2	1	1	0	2	1	0	0	15
退所	0	1	1	2	3	1	0	1	0	1	0	0	10

デイサービスセンターれもん

作成責任者：管理者 遠森 利一

I 年間を通しての総括

1. 新規事業

デイサービスセンターれもんは、令和3年12月1日に通常規模通所介護事業所（定員20名）から地域密着型通所介護事業所（定員9名）へ変更し稼働しています。従来の通常規模通所介護の時には近隣の市町の方の受け入れが可能でしたが、現在は地域密着型サービスの為、松前町の保険者のみ対象であり、以前にも増して集客が難しくなりました。さらに、まだまだコロナウイルスが落ち着かない状況で訪問に対して、事業所等への立ち入り・直接対応が困難なところが多い現状は続いています。また、当施設としても入館制限を続けておりますので、施設の中をゆっくりと直接見て回っていただく事ができない現状も続いています。そのような状況下においても、より事業所の事を理解して頂けるような周知方法を創意工夫しながら伝えていきます。

2. リハビリの充実

ご利用者が住み慣れた自宅で継続して生活を行う為に、専門のセラピストが個々の障害（疾患）・身体機能や自宅での生活状況等を評価し、ADLの維持・向上を目標に掲げ個別リハビリテーションを実施しています。また、リラクゼーションを目的としたウォーターベットやメドマーなどの物理療法も併せて実施しています。さらには、集団での体操やレクリエーション等楽しみを通して活動する機会を持っていただくことにも力をいれました。

3. 今後の課題

現在は、月～金曜日と言う営業日に対し、月・水・金の週3日しか利用者の登録がなく、稼働が低い現状にあります。定員9名のサービスを展開していますが、できるのであれば将来的には定員15名ほどにあげていけるようにしたいと考えています。しっかりと1つの事業所として成り立つよう経営状況を改善するべく、まずは周知活動に努めていきたいと考えます。また、松前町内でも様々な特色を持ったデイサービスが展開されておりますので、当事業所においても他事業所よりも秀でた取り組みを展開し、選ばれる事業となれるよう尽力したいと考えます。

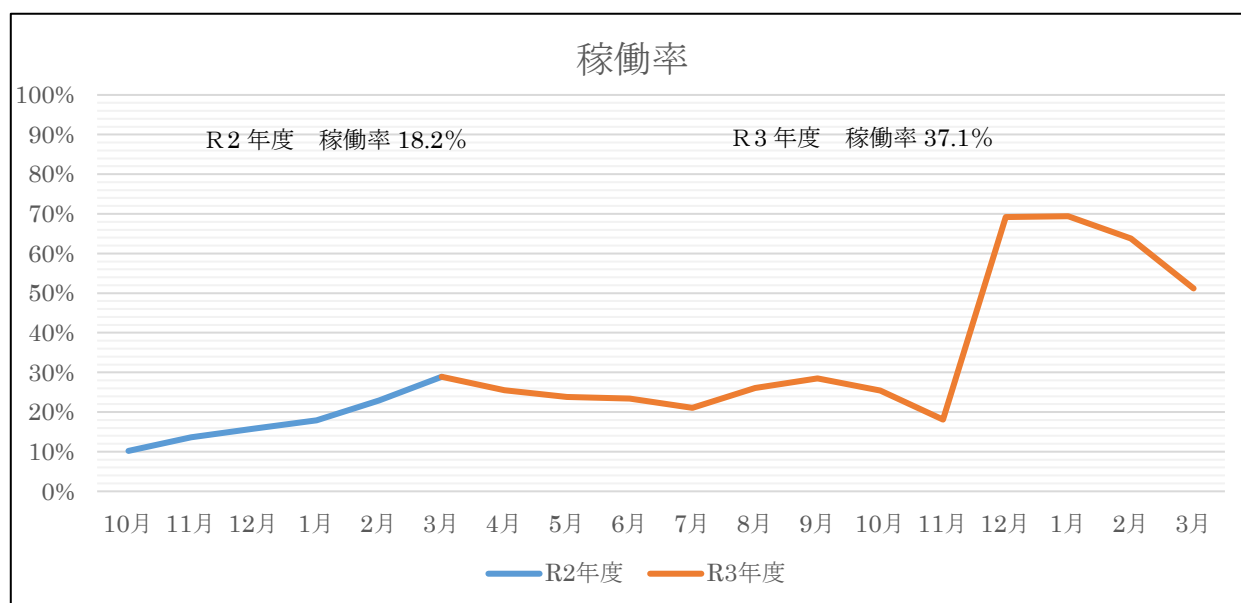
II 利用者状況

1. 要介護度別利用日数（介護予防含む）及び稼働率

(営業日数)	4月 (26)	5月 (26)	6月 (26)	7月 (27)	8月 (22)	9月 (21)	10月 (22)	11月 (22)	12月 (13)	1月 (12)	2月 (12)	3月 (13)	合計
要支援1	8	5	7	3	5	3	3	5	5	4	4	8	60
要支援2	3	3	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	13
要介護1	15	26	34	35	38	38	38	30	31	27	21	26	359
要介護2	34	27	12	14	9	9	13	22	26	24	24	13	227
要介護3	29	26	29	41	36	34	38	10	7	8	8	0	266
要介護4	44	38	35	18	27	36	20	13	13	12	12	13	281
要介護5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	134	125	121	114	115	120	112	80	82	75	69	60	1,207
稼働率	25.5%	23.8%	23.4%	21.1%	26.1%	28.5%	25.4%	18.1%	69.2%	69.4%	63.8%	51.2%	37.1%
前年度							10.2%	13.6%	15.8%	17.9%	22.9%	28.9%	18.2%

※令和3年8月より木曜日利用者がいない為営業日を月～水、金～土に変更。

※令和3年12月より地域密着型通所介護へ移行。営業日月・水・金となる。



2. 体験・新規・終了者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
体験者	3	2	0	2	0	2	0	1	0	0	0	1	11
新規者	1	2	0	2	0	2	0	1	0	0	0	1	9
終了者	5	2	1	2	1	2	3	2	0	0	2	0	20

みかん内科クリニック

作成責任者：医療事務 高尾 瞳

I 年間を通しての総括

1. 新規事業

みかん内科クリニックは、令和3年8月1日に開設した事業所です。開設以前より、事業所がある総合福祉施設みかんの里のご入居者、またそのご家族より、法人が直接雇用する医師がいれば安心できるとのご要望を沢山いただいております、相談できる医師を探していました。そんな矢先、当事業所の管理者である荒深景一先生との縁があり、訪問診療を中心とした医療を提供したいとみかん内科クリニックを開設する運びとなりました。そして、ご要望に応えるべく特別養護老人ホームみかんの里の嘱託医師、またグループホームこころ、有料老人ホームみかん・松前のご入居者の主治医も務めさせていただいております。

2. 在宅医療の提供

患者様が、住み慣れた自宅で継続した生活を行うことが出来るよう支援する為に、受診前には身体機能や自宅での生活状況等をケアマネジャーやご家族よりしっかりとヒアリングさせていただいた上でプランニングを致します。そして、医師が定期的に診察に伺う「訪問診療」と、お体の具合が悪くなった患者様・家族様の求めに応じて訪問する「往診」を組み合わせ、ご自宅での療養生活を支えています。さらに、ケアマネジャー・訪問看護・訪問介護・訪問リハビリなどの介護サービスと連携し、ご自宅での生活を支援しています。

3. 今後の課題

訪問診療の特徴として自宅と事業所を行き来するサービスの為、感染症に対する対策（コロナウイルス）「持ち込まない」「持ち込ませない」を徹底して行う必要があります。まずは、職員が正しい知識を持ち対策をしっかり周知していきます。そして、事業所内の衛生管理に細心の注意を払っていきたいと考えています。さらには、行政等との連携をしっかりと図りながら、患者様が安心して生活していける環境を作っていきます。

また、日本医師会をはじめ、愛媛県医師会及び松山市医師会へ加入をさせていただきました。発熱外来の届出や、集合契約によるワクチン接種など、医師会を通じて参加させていただける業務も増えてくるかと思えます。一つ一つ確実にこなすことが出来るよう、職員一丸となり取り組んでいきたいと考えています。

II 患者状況

1. 新規患者数

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	29	0	0	0	0	0	1	0	30
施設	20	5	0	0	1	2	1	1	30
在宅	4	3	6	2	2	3	4	2	26
外来	2	4	0	5	3	1	12	5	32
合計	55	12	6	7	6	6	18	8	118

※ 施設は有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホームが対象

2. 終了患者数と登録患者数

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
終了	0	1	2	3	3	3	2	2	16
登録者	55	66	70	74	77	80	96	102	102

3. 診察件数

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	58	58	58	58	58	58	58	58	464
施設	53	60	48	59	54	52	54	66	446
在宅	12	11	27	41	34	41	39	56	261
外来	2	5	1	6	8	5	19	19	65
合計	125	134	134	164	154	156	170	199	1,236

